

## 記録

### 関西学院大学大学院社会学研究科 大学院 GP

#### 「社会の幸福に資するソーシャル・リサーチ教育 ― ソシオリテラシーの涵養」 大学院生・研究員による研究活動（2010年6月～2010年12月）

本大学院 GP プログラムのうち、大学院生・研究員が企画段階からかかわって開催された海外セミナーやフォーラム、および共同研究班による研究会の活動記録を掲載する。

本大学院 GP 全体趣旨およびそのもとで実施されている各プログラムの詳細に関しては、以下 URL より web サイトをごらんいただきたい。

<http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/>

■ 2010年6月27日

#### 共同研究「〈承認〉の社会的再構築」第7回研究会

「現代日本におけるジェンダーと〈承認〉」

於：関西学院大学社会学部棟3F 大学院1号教室

報告者：

守 如子氏（関西大学社会学部准教授）

参照：<http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/gp-blog/topics/jp-recognition/>

■ 2010年7月3日

#### 共同研究「東アジアのストリートの現在」第10回研究会

『Transnational Sound or Homeland Sound? ― 移民音楽が生み出す〈場〉と〈空間〉』

於：Miski（ペルー料理店）

報告者：

エリカ・ロッシ氏（一橋大学大学院社会学研究科）

「移民と場／移民の場―トランスナショナルな音楽の観点から」

コメンテーター：

菅野 淑氏（名古屋大学大学院文学研究科）

参照：<http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/gp-blog/topics/jp-street/>

■ 2010年7月30日～8月1日

#### 関西学院大学大学院社会学研究科大学院 GP 共同研究班 研究合宿

於：関西セミナーハウス（京都）

報告者：

伊藤 康貴（関西学院大学大学院社会学研究科 博士課程前期課程）

「〈当事者〉を／として研究するということ―「ひきこもり」の個人史、物語、語りを通じて」

松村 淳（関西学院大学大学院社会学研究科 博士課程前期課程）

「震災復興をめぐる、建築家による建築の批評性の射程」

平田 誠一郎、吹上 裕樹（関西学院大学大学院社会学研究科研究員、博士課程後期課程）

「芸術文化における承認の再獲得―あるオーケストラの存廃問題をめぐって」

山森 宙史（関西学院大学大学院社会学研究科 博士課程前期課程）

「マンガ読者論再考—読者の社会的関係を記述するために」

福田 雄（関西学院大学大学院社会学研究科 博士課程後期課程）

「市民宗教論再考—現代社会における最大公約数的な宗教的志向性の可能性」

林 梅（関西学院大学大学院社会学研究科 研究員）

「労働移動における『留守』の仕組み—中国東北地域朝鮮族村を事例に」

安達 智史（日本学術振興会／東北大学大学院）

「ムスリムであることとイギリス人であること—ポスト・テロリズムにおける若者ムスリムのアイデンティティ・マネジメント」

向井 学（関西学院大学大学院社会学研究科 博士課程前期課程）

「hidden curriculum の道徳性と社会性」

尾添 侑太（関西学院大学大学院社会学研究科 博士課程後期課程）

「詩のボクシングの社会学的分析—朗読ボクサーの文化実践を通して」

ディスカッサント：

五十嵐 泰正（筑波大学）

川元 みゆき（NPO 法人子どもシェルターモモ）

塩原 良和（慶應義塾大学）

南後 由和（東京大学）

東 琢磨（音楽評論家）

Greg Dvorak（日本学術振興会／東京大学）

友永 雄吾（日本学術振興会／総合研究大学院大学）

司会：

稲津 秀樹、川端 浩平、白石 壮一郎、中川 千草（以上関西学院大学大学院社会学研究科）

谷村 要（大手前大学）

山北 輝裕（日本大学）

参照：[http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/pdf/20100730\\_camp\\_program.pdf](http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/pdf/20100730_camp_program.pdf)

■ 2010年9月2日～9月9日

#### 第4回計量社会学セミナー

於：Hotel Greenwich Village（ネパール・カトマンズ）

報告者：

前田 豊 “Comparative Reference Group as the Determinant of Class Identification”

仲 修平 “Changes of Japanese Youth Labor Market”

中川 和亮 “The Relationship between Social happiness and Advertising”

前村 奈央佳 “Quantitative investigation of qualitative data: An introduction to KJ method”

コーディネーター：

葛西 映吏子（同研究科研究員、RA）

中川 千草（同研究科大学院 GP プログラム・コーディネーター）

中野 康人（関西学院大学社会学部教授）

参照：[http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/pdf/20100902-0909\\_nepal.pdf](http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/pdf/20100902-0909_nepal.pdf)

■ 2010年9月12日

#### 共同研究「東アジアのストリートの現在」第11回研究会

『路上と広場—〈マダン〉から眺める東アジアの現在』

於：京都府民総合交流プラザ（京都テルサ）第1セミナー室

報告者：

山口 健一（京都大学大学院 GCOE プログラム研究員）

『(民族) 民衆文化運動』と『民族まつり』の間で—『東九条マダン』を見る視角の考察』

水谷 清佳（東京成徳大学助教）

「韓国社会におけるマダン」

コメンテーター：

稲津 秀樹（関西学院大学社会学研究科博士後期課程／日本学術振興会）

参照：<http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/gp-blog/topics/jp-street/>

■ 2010年10月9日

**共同研究「東アジアのストリートの現在」第12回研究会**

『“Messing the Streets!?”—「汚れた公共空間」構想のために』

於：関西学院大学社会学部棟大学院 GP 事務室

報告者：

松村 淳（関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程）

「阪神御影地区におけるジェントリフィケーションの進行と再領有化の試み」

白石 壮一郎（関西学院大学大学院社会学研究科特任助教）

「1980年代国立大学新々寮反対闘争にみる再領有の実践」

コメンテーター：

松原 康介氏（筑波大学大学院システム情報工学研究科助教）

岩館 豊氏（一橋大学大学院社会学研究科博士課程／日本学術振興会）

参照：<http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/gp-blog/topics/jp-street/>

■ 2010年11月6日

「グローバリゼーションと移動・定住のフロンティアの現在（日本社会学会若手企画テーマ部会1）」

於：名古屋大学（日本社会学会第83回大会）

報告者：

山北 輝裕（日本大学）

「野宿者の移動と定住」

安達 智史（日本学術振興会／東北大学）

「イギリスの若者ムスリムの社会意識—グローバリゼーション、再帰性、アイデンティティー」

稲津 秀樹（関西学院大学／日本学術振興会）

「移動する人びとの社会をどのように〈フィールドワーク〉できるのか—〈自己延長的なフィールドワーク〉の試みにむけて」

谷村 要（大手前大学）

「ネットコミュニティと地域コミュニティが交差する〈場〉—滋賀県犬上郡豊郷町におけるアニメ聖地を事例として」

響田 竜蔵（吉備国際大学）

「グローバリゼーションと地元志向」

コメンテーター：

五十嵐 泰正（筑波大学）

塩原 良和（慶應義塾大学）

司会：

川端 浩平、白石 壮一郎（いずれも関西学院大学）

参照：[http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/gp-blog/2010/11/20101106\\_report.html](http://www-soc.kwansei.ac.jp/kgu-gp/gp-blog/2010/11/20101106_report.html)

■ 2010年12月15日

**研究成果の国際発信のための総括ワークショップ**

於：関西学院大学 G 号館 G103

司会：

白石 壮一郎、川端 浩平

総説：

阿部 潔「研究成果を英語で発信すること」

報告者：

テランス・ヤング、川端 浩平「英語プログラムによるサポートと発表するまでのプロセス」

前田 豊「ネパール・トリブバン大学との国際プログラムについて」

松村 淳「オーストラリア国立大学 APW2010について」

稲津 秀樹「中国・北京師範大学との国際プログラムについて」

福田 雄「国際学会発表について」

まとめ：

三浦 耕吉郎「次年度以降への国際プログラムの引継ぎと学内助成について」